



一人ひとりの夢・思いを大切に しなぶくニュース

編集人 しなぶくニュース編集委員会 発行人 永田 元
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



目次

- (1) らうんじ
- (2) ～ (3) 夏の思い出
- (4) 私達の風景vol3
 - ・介護ロボット紹介
- (5) ボランティア紹介
 - ・大井三丁目高齢者憩いの場 紹介 (ひなたぼっこ)
- (6) 豆知識・法人祭り案内
 - ・しなぶくの窓

かもめ園(知的)の納涼会で
永田理事長(右端)と

らうんじ

本年六月より、理事長に就任しました永田でございます。市原前理事長同様よろしくお願いいたします。

これまで、いくつかの社会福祉法人で運営の仕事に携わってまいりましたが、今回縁あって品川総合福祉センターでお仕事をさせていただくことになりました。微力ではありますが、全力で皆さんに愛され信頼される法人の運営に取り組んでまいりたいと思います。

品川総合福祉センターは、設立当初から「地域とともに」を基本理念として運営されてきました。複雑に展開する世界情勢や国内情勢のもと、最近の福祉を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、皆さんの期待に沿えるよう利用者一人ひとりの尊厳を守り、利用者本位のサービスを提供し、地域の皆さんとともに、地域の一員として福祉の向上に、職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、皆様のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。



理事長
永田 元



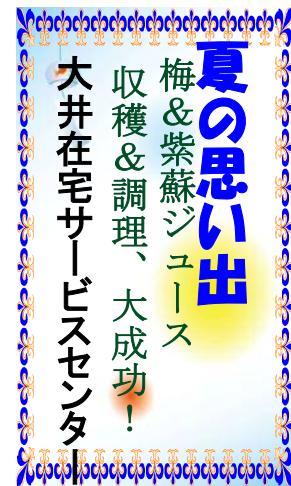
八潮祭りの当法人の模擬店ブースで

「お買い上げ！ありがとうございます！」



今年の梅雨は、雨ばかりの
 天気が続き涼しいを通りこし
 て寒い日もありました。
 そんなお天気の中、さる七
 月十三日、十四日に八潮まつ
 りが開催されました。
 グループホーム八潮南では
 毎年このお祭りをみなさん楽
 しみにしています。

まつりには八潮地区の各自
 治会の模擬店が並び、焼きそ
 ばや焼き鳥、綿あめやかき氷
 等が販売され、品川総合福祉
 センターも利用者の作品やプ
 チレーブのパン・ポップコー
 ンなどを販売し、会場はたく
 さんの地域の方々と賑わって
 いました。当日は利用者の皆
 さんと一緒に会場に向かい、
 お神輿を見たり、模擬店を回
 ったり、八潮太鼓を楽しみま
 した。目の前で叩く八潮太鼓
 は迫力がありました。
 車椅子の方が「金魚すくい
 をしたい」と言うのと「これに
 座ったら」と気さくに声をか
 け、椅子を持ってきてくださ
 り楽しむことができました。
 利用者の皆さんは綿あめな
 どを食べながら懐かしい思い
 出を話し、盆踊りのやぐらや
 浴衣の少女等を見ながら夏の
 思い出に浸ることができまし
 た。
 今後も地域の行事に参加し、
 地域の方と交流していきたい
 と思います。



今年の夏も、初夏の梅に始
 まり、菜園はナスやトマト、
 オクラ、ゴーヤ、青紫蘇の収
 穫といった季節の便りで賑わ
 いました。

今年は、例年以上に、通所の
 皆様に夏の手仕事をいろいろ
 手伝っていただきました。そ
 の手始めが梅の収穫。背伸び
 をして高い枝から梅を取った
 り、かごに受け取ったりと手
 分けをして、庭の梅の木から



梅ジュース調理中！

おいしくなりますように！

約一キロの梅の実を収穫しま
 した。梅を洗って、布巾でよ
 く拭いて、氷砂糖と交互に瓶
 に入れていく。梅ジュースを
 作りながら話題にのぼったの
 は、「よくおばあちゃんが作
 っていた」という梅
 酒や梅干
 しのお話
 でした。
 各家庭
 の味を参考に、残った数個の
 梅で梅干し作りにも挑戦。天
 気の良い日にざるで干されて
 いる梅干しはこの夏の風物詩
 になりました。程良くしわし
 わになり、完成したようにも
 見えるのですが、びっしりと
 塩を吹いた梅干しには、まだ
 誰も手を伸ばしていません。
 らっきよう漬けも作って、
 昼食にカレーライスが出た時
 に一緒にいただきます。梅
 干しに使った赤紫蘇の残りは
 紫蘇ジュースになりました。
 皆で分け合うたびに作った
 時の楽しさを思い出します。



夏の味覚 梅ジュース
 梅&紫蘇ジュース

今年、夏の祭りのでは、流しそめんと、うめんを、楽しんで、いまし。夏らしい音楽の中、皆さんですするそめんは格別だったと思ひます。他にも出店のように、た



楽しい夏の思い出になりました

かもめ園では、毎年夏まつりと花火を開催しています。六階の作業場で作業をされている利用者の皆様が夏休みであるお盆の時期に、ある日は夏祭り、ある日の夜は花火、と夏の風物詩を施設の中でも楽しんでいただけるよう、職員が趣向を凝らしています。

夏の思い出
流しそめんと
花火大会
かもめ園(身体)

花火は本部の駐車場で行ないますが、夜の外出が少ないこともあり、皆様ドキドキわくわくしながら、職員が火を点ける打ち上げ花火に目を輝かせたりしていました。夏の夜に煙がもくもくと立つ中で、花火に照らされる皆様のきらきらした目がとても印象深く、利用者の皆様にとっても思い深いイベントになっていると思ひます。



早くそめん、流してください！

こ焼きや焼き鳥もあり、皆様満足げな様子でした。お腹が満たされたところでカラオケがスタートし、皆様の十八番をそれぞれ熱唱されていました。

成長を樂しみにされている方も心配されている方もいます。六、七月は雨の日も多く、なかなか芽が出ずに、利用者の皆様も「まだ芽が出ないの」「いつ食べられるようになるの」など、



装飾も華やかにしています

サンかもめでは、夏に限らず「四季」をご利用者に楽しんでいただけるように、ベランダを整理し、園芸を今年から開始いたしました。今年「朝顔」「ミニトマト」「きゅうり」「ひまわり」をご利用者と植え、スクスクと育ちました。

夏の思い出
大きく育て
ひまわりの花
サンかもめ

できました。職員は開花までたどり着き安堵な表情でした。冬に向けて、「寒さに負けずに咲く花を植えよう」「冬に咲く花は何だろう」と興味津々、サンかもめ内でも四季を感じる事ができる空間をたくさん作り、皆様楽しまれています。



土を触ることが大好き！

が、夏を迎えて元気に育ちました。特にひまわりの育て方がイメージしていた以上に難しく、発芽時に芽が垂れ下がってばかりで利用者・職員もドキドキな日々を過ごしていましたが、何とか見事な一輪花まで辿りつくことができました。披露時には、利用者の皆様は笑顔で拍手喝采。大変喜ばれている表情がみることが

「私達の風景」 Vol.3

品川区障害者 地域活動支援センター「あえる逢」



利用者の素敵な作品
(あえるの交流室)

から金曜日の九時から一六時まで利用可能です。
交流室には、利

品川区立心身障害者福祉会館の四階には、地域の障害者の方達が逢える場所・交流できる場所として、品川区障害者地域活動支援センター「あえる逢」があります。交流室は登録制となっております。品川区内の障害をお持ちの方ならどなたでもご利用になれます。月曜日



皆で楽しく歓談中！

用者の方々の作品が展示してあり、本・雑誌・ビデオ・DVD等は自由に見ることができま

最近では、同じ会館内の自

立訓練事業や、地域活動支援センターを利用されている方々が一緒に昼食を食べたりする姿が多く見られています。交流室を利用して、季節に合わせたハロウィンやクリスマス会等を開催しています。交流室に行けば誰かに逢えると思っ

介護ロボット導入試行の 取組みを終えて

八潮南特別養護老人ホーム

八潮南特別養護老人ホームでは、平成二十八年度に品川区緊急介護人材確保・定着支援事業として経費助成を受け、介護ロボットを導入しました。実際に介護現場に携わる職員が装着し、その効果を体験しました。

ロボットの仕組みとしては、荷物を持つ際や介護現場で利用者を抱える際など、装着したロボットが身体をアシストし、装着前よりも重さの負担が軽減される機器です。

実際に装着した職員の感想としては「中腰姿勢の負担が軽減した」「安定するので安心して移乗介助ができる」等の意見が聞かれました。一方で、「サイズが大きいくトイレ内の介助などでは動きにくい」



ロボットスーツ装着時の様子

「大きく膝を曲げた動作の際に、意図しないタイミ



ロボットスーツHAL



「縁の下の力持ち」な、加藤さん
いつも私たちを支えてくださっています

ボランティア紹介 かえで荘 車椅子清掃 加藤勝利さん

今回は、本部かえで荘の車いす清掃を下さっているボランティアさんをご紹介します。

週一回、かえで荘の廊下の一隅で黙々と車椅子と向き合ってくださいっている加藤勝利さんです。

利用者の皆さんが普段乗っている車椅子は、生活の中で知らぬ間に、汚れてしまっている除き、その汚れを丁寧に取

いきます。その清掃の方法や道具の扱い方は工夫されていて、まるで車椅子の魔術師のようです。

汚れの種類によって、様々な道具を使い分けます。真鍮ブラシ、へら、電動ブラシ、掃除機、オイル：それらの道具は、なかなか取れない汚れをどうにかしてきれいにしたいと、加藤さんが自ら考えてご自宅から持ってきてくださった魔法の道具の数々です。

加藤さんの想いとその技術の高さは、ご利用者にも職員にも伝わっています。

加藤さんの腕前を聞いた施設のご利用者も掃除したいと希望され、きれいにしたいいただき大喜び。一階の地域貸出用の車椅子もきれいにしてお世話になっていきます。心から感謝していただきます。これからもよろしくお願いいたします。

大井三丁目高齢者憩いの場 「ひなたぼっこ」をご紹介します



デコレーションケーキ、協力し合って、大成功！

これからは、わくわくするプログラムを企画していきま

『大井三丁目高齢者憩いの場』にて第二・第四土曜日午後開催されている「ひなたぼっこ」をご紹介します。子供、育児ママ、障害者、高齢者、どなたでも参加できる多世代交流の場「ひなたぼっこ」。クッキングや工作など、様々なイベントを行っています。おやつを作る工程では、料理のベテランである高齢のご婦人が、若いお母さんや子供達をさりげなくサポートしてくださっています。



お庭で育てた藍の葉を摘み取って、藍染体験！

また物づくりの場面では、子供のキラキラした感性に刺激され、細かな作業にも挑戦される大人たちが増えていきます。

秋の食中毒

実りの秋を迎え食欲が旺盛になる季節になりました。しかし年間が一番食中毒の多い時期は九月～十月です。

夏バテして体力が落ち、免疫力が低下しているところに、大きな気温の変化も加わり体調を崩しやすいことや、秋は行楽シーズンで野外での食事が増えることも影響しています。食中毒を防ぐためには①菌をつけない②増やさない③やつつける事が大切です。

①菌をつけない

↓「洗う・分ける」



手にはさまさまな雑菌が付着しています。調理や食事の前、残った食品を扱う前には十分な手洗いをしましょう。調理で使ってしまったまな板などはその都度き

豆知識

れいに洗浄し、残った生肉などの保管には菌が広がらないよう密閉容器に入れるかラップで包み冷蔵庫で保管しましょう。

②増やさない

↓「低温で保存」



菌の多くは高温多湿な環境で増殖が活発になり、十度以下では増殖がゆっくりとなりマイナス十五度以下では増殖が停止します。菌を増やさないためには低温で保存することが重要です。

③やつつける

↓「加熱処理」



ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅します。肉や魚はもちろん野菜なども加熱して食べれば安心です。中心部を七十五度で一分以上加熱することが目安です。調理器具も洗浄後に熱湯をかけて殺菌しましょう。

食中毒に気をつけて秋の味覚を楽しんで下さい。

しなふく紅葉フェスタのご案内

法人の祭りも地域とともに三十六年。フェスタで充実した楽しい一日と一緒に過ごしませんか？皆様是非おいでください。

開催時期..十月二十七日(日)

開催時間..午前十時半～午後二時半

場所..品川総合福祉センター

一階駐車場・ロビー

内容..模擬店・ステージイベント・抽選会・ゲーム大会・施設作品展示・ユニバーサル体験コーナー・お買得コーナー
他。

しなふくの窓

施設の素敵なものを「窓」を通して紹介していくコーナー。

今回は、傾聴ボランティアの会の鈴木身知子様より寄贈していただいた「和顔愛語」と書かれた額をご紹介します。いつも、にこやかに来所される鈴木様の大好きな言葉「和顔愛語」とは、和やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接することです。

来所された時に「利用者の皆さんから笑顔で挨拶をされ、本



当に自分自身が救われます。ぜひ、ロビーに飾って欲しい」と

のご意向で寄贈して頂きました。

辛い時こそ、まずは自分から笑顔と優しい言葉で人に接したいものです。



書家 謙鳳 鈴木謙太郎氏 身知子様のご長男